

たれ・にょう・かまえ

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

「たれ」「にょう」「かまえ」の部首の名前と形をおぼえよう

三つのなかま

	部首の名前	漢字
たれ	广 (まだれ) 疒 (やまいだれ)	店・庫・府・底 / 病
にょう	辶 (しんにょう・しんにゅう) 廴 (えんにょう)	道・連・達・辺 / 建
かまえ	口 (くにがまえ) 門 (もんがまえ)	国・囙・固 / 間・開・関

いっしょにやってみよう

れい 「関」の部首は？

- ① 外がわを「門」がかこんでいる。 → ② 「門」の形の かまえ。 → ③ 答え もんがまえ

やってみよう

できたところまでで OK

① 部首の名前を選ぼう。

- (1) 庫 (まだれ・しんにょう) (2) 選 (まだれ・しんにょう)
(3) 固 (くにがまえ・もんがまえ) (4) 建 (えんにょう・やまいだれ)

② 「しんにょう」の漢字を二つ選ぼう。

- ☐ 達 ☐ 底 ☐ 辺 ☐ 固

③ 「まだれ」の漢字を一つ書こう。

答え 1. (1) まだれ (2) しんにょう (3) くにがまえ (4) えんにょう 2. 達・辺 3. 例：店 (庫・府・底・広)

漢字（くらべる）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

くらべることに使う漢字「^さ差・^{ひく}低・^{そこ}底・^{あさ}浅」を読んで書こう

きょうの漢字

音 サ
訓 さ(す)
さ じさ
差・時差

音 テイ
訓 ひく(い)
ひく さいてい
低い・最低
「底」とにている

音 テイ
訓 そこ
かいてい
海底・くつの底
「低」とにている

音 セン
訓 あさ(い)
あさ とおあさ
浅い・遠浅

いっしょにやってみよう

れい 「ひくい」と「そこ」、形がにている所は？

① どちらも右が
わが 同じ形。

② 「ひくい」は「イ」、
「そこ」は「广」。

③ 答え 低・底

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 二人の点数の差を計算する。

(2) セの低い木。

(3) 川の底が見える。

(4) 浅い川で遊ぶ。

② □に漢字を書こう。

(1) ^{ひく}
□ い声。

(3) ^{あさ}
□ いお皿。

(2) なべの ^{そこ}
□。

(4) 点数の ^さ
□ が開く。

③ 反対の意味の言葉に○をつけよう。

(1) 高い ⇔ (低い・浅い)

(2) 深い ⇔ (低い・浅い)

答え 1. (1) さ (2) ひく (3) そこ (4) あさ 2. (1) 低 (2) 底 (3) 浅 (4) 差 3. (1) 低い (2) 浅い

短歌を読もう① リズムと情景

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて短歌を声に出して（または心の中で）読み、
リズムを感じて、大体の意味をつかもう

読む短歌

春^す過ぎて 夏^き来にけらし 白^{しろ}妙^{たえ}の 衣^{ころも}ほすてふ 天^{あま}の香^か具^ぐ山^{やま} (持^じ統^{とう}天^{てん}皇^う)大体の意味：春がすぎて、夏が来たらしい。夏になると白い衣をほすと
言い^{つた}伝えられている天の香具山に、真^まっ白^{しろ}な衣^{ころも}がほしてある。

いっしょにやってみよう

れい 五・七・五・七・七に区切ると？

① はる^はすぎて（五）な
つきにけらし（七）② しろ^{しろ}たえの（五）
ころもほす
ちょう（七）

③ あまのかぐやま（七）

やってみよう

♡ できたところまででOK

💡 声に出すのがむずかしい場合、このプリントでは心の中で読んだり指で追ったりして取り
組んでもよい。

① この短歌の季節は？

☐ 春から夏へ^か変わるころ☐ 秋☐ 冬

② 作者が見ているものは？

☐ 山に ほされた白^{しろ}い衣☐ 海にうかぶ船

③ この短歌から思いうかぶ様子を、色も入れて書こう。

答え

1. 春から夏へ^か変わるころ 2. 山に ほされた白^{しろ}い衣 3. 例：緑の山に、真^まっ白^{しろ}な衣がほされている様子。

詩の^{れん}連とくり返し

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📖 きょうの
めあて

詩の「^{れん}連」と「くり返し」に注目して読もう

🔍 読む詩 (この教材のための詩)

たいこ

雨が ふる

ぽつん ぽつん

屋根の上で

小さな たいこ

雨が ふる

ざあ ざあ

町じゅうが

大きな たいこ

雨が やむ

しいん

たいこは

どこへ 行ったのだろう

🗨️ いっしょにやってみよう

👤 れい この詩は、いくつの^{れん}連でできている？

① ^{れん}連と^{れん}連の間で区切る。

② 三つの
まとまりがある。

③ 答え 三つ

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① くり返されている言葉は？

☐ 雨が ふる

☐ しいん

② 第二^{れん}連の「大きな たいこ」は、どんな雨の様子を表している？

☐ 強くはげしい雨

☐ 小さな雨つぶ

③ 第三^{れん}連で、様子はどう^か変わった？

📖 答え 1. 雨が ふる 2. 強くはげしい雨 3. 例：雨がやんで、しずかになった。

だんらく だんらく
問いの段落と答えの段落

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

だんらく だんらく
問いの段落と、その答えが書かれた段落を見つけよう

読む文章

① 冬の寒い朝、地面から細い氷の柱が、何本ものびていることがある。

これは霜柱しもばしらという。霜柱しもばしらは、どのようにしてできるのだろうか。

② 寒い夜には、地面の表面が冷えて、土の中の水がこおる。

③ すると、その下の土から水が吸すい上げられ、またこおる。これがくり返されて、氷が上へ上へとのび、柱のようになる。

④ このように、霜柱しもばしらは、土の中の水が少しずつこおって のびることできる。

いっしょにやってみよう

れい 問いが書かれている段落だんらくは？

① 「～だろうか。」
をさがす。

② ①の段落だんらくの
終わりにある。

③ 答え ①

やってみよう

できたところまでで OK

① 問いの答えが まとめて書かれている段落だんらくは？

☐ ② ☐ ③ ☐ ④

② 霜柱しもばしらが上へのびるのは、なぜ？

☐ 下の土から吸すい上げられた水が、次々にこおるから

☐ 空から氷がふってくるから

③ ④の段落だんらくの「このように」は、どの段落だんらくの内容をまとめている？

☐ ②と③ ☐ ①だけ

答え 1. ④ 2. 下の土から吸すい上げられた水が、次々にこおるから 3. ②と③